



② 循環型社会形成への取組み

社外ステークホルダーのご意見
限りある資源を将来につなぐためにはゼロエミッション活動が必要
➡ P.27~28
廃棄物のゼロエミッション活動の展開

1. 廃棄物のゼロエミッション活動の展開

循環型社会の形成に向け、廃棄物の適正な管理・処理を行うとともに、2001年から3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進する廃棄物ゼロエミッション活動に取り組んでいます。

産業廃棄物

当社が排出する産業廃棄物には、火力発電所の運転に伴う副産物(石炭灰、石こう)や工事に伴う撤去資材などがあります。これらの産業廃棄物については、適切な管理・処理を行うとともに、発生量の抑制(Reduce:リデュース)、再使用(Reuse:リユース)、再生利用(Recycle:リサイクル)の3Rを実践しています。

【発生量の抑制(リデュース)への取組み】

発電所では、発電設備の保全リスク管理を徹底しており、これに基づく適切な工事計画の策定・実施により、廃棄物の発生量抑制に取り組んでいます。

【再使用(リユース)への取組み】

配電工事等で撤去した電力用資機材については、再使用に必要な性能・品質を有しているかなどを適正に判断し、再使用しています。

WEB 詳細は [九州電力](#) > 関連・詳細情報(P2参照)
> 配電用資機材の再使用状況

【再生利用(リサイクル)への取組み】

2016年度は、発生した産業廃棄物約94万トンをはほぼ100%リサイクルしました。産業廃棄物の大部分を占める石炭灰については、石炭灰の特性を活かしたセメント原料などへの有効利用を行っており、100%リサイクルしています。

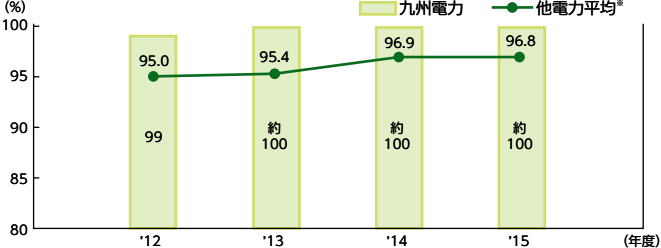
《産業廃棄物の発生状況とリサイクル率(2016年度)》

	発生量(トン)	リサイクル量(トン)	リサイクル率(%)	主なリサイクル用途
石炭灰	766,274	766,274	100	セメント原料 コンクリート混和材
重原油灰	365	365	100	バナジウム回収
石こう	106,733	106,733	100	セメント原料
汚泥	4,212	1,866	44	セメント原料
廃油	2,749	2,701	98	燃料油に再生
廃プラ	542	481	89	助燃材
金属くず	46,816	46,765	約100	金属材料
廃コンクリート柱	12,474	12,474	100	路盤材、建設骨材
ガラス・陶磁器くず	169	166	98	ガラス製品材料
特別管理産業廃棄物*	369	312	85	セメント原料
その他	128	75	59	助燃材
小計	174,557	171,938	99	
産業廃棄物総合	940,831	938,212	約100	

(注) 四捨五入のため合計値が合わないことがある。
*:「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)」において、人の健康または生活環境に係る被害を生ずる恐れがある性状を有するため特別管理産業廃棄物として規定されている汚泥、廃石綿等、廃油、廃アルカリ及び廃酸。

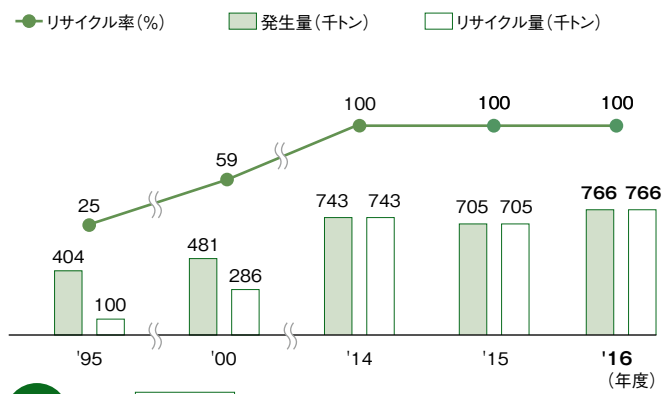
WEB 産業廃棄物の発生量とリサイクル率の推移については [九州電力](#)
> 関連・詳細情報(P2参照)
> 産業廃棄物の発生量とリサイクル率

《廃棄物リサイクル率の他社比較》



*: 当社を除く、旧一般電気事業者(9社)の廃棄物リサイクル率の平均。

《石炭灰の発生量とリサイクル率》



WEB 詳細は [九州電力](#)
> 関連・詳細情報(P2参照) > 石炭灰の新たな有効利用への取組み

WEB その他の取組みについては [九州電力](#)
> 関連・詳細情報(P2参照) > 配電用資機材の再生利用状況

WEB 発電所別の廃棄物の発生量等については [九州電力](#)
> 関連・詳細情報(P2参照) > 発電所別の廃棄物の発生状況

用語集をご覧ください

- 循環型社会
- ゼロエミッション
- 3R
- 産業廃棄物
- 石炭灰
- 石こう
- リサイクル率
- 重原油灰
- 汚泥

☑ 第三者機関による保証を受けた環境データ